

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 85-87 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	23 環境問題への取り組み強化

★ 目指す姿

みんなが環境について自ら考え、環境に配慮した生活・活動を実践している。



■ 施策の主な取り組み

① ごみ減量と資源化の推進

市民・事業者・行政の協働のもと、ごみの発生抑制、新たな資源化を推進し、環境への負荷を減らします。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
1人当たりの1日のごみ排出量	g	家庭系ごみ総量/365日/人口	675	533 533 533
ごみの資源化率	%	資源化量/家庭系ごみ総量	14.5	23 23 23

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	ごみの発生・排出抑制のための各種事業(電動式生ごみ処理機の購入補助、集団資源回収奨励、マイバッグ運動など)や分別・収集に係るルールの見直し、リユースイベント等を実施します。	—

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗 目標値 中間値(9月末) 実績値(年度末) 目標達成度(R6年度比)	担当所管
607	533 - 585 63.4%	市民環境部 廃棄物対策課
13.1	23.0 - 13 54.8%	市民環境部 廃棄物対策課

② 環境保全対策の推進

市民の環境に対する意識向上を促し、市内の環境保全を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
不法投棄相談件数	件	相談件数	25	23 21 19
公害苦情相談件数	件	相談件数	45	38 31 24

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	不法投棄防止啓発事業	不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラの設置、バトロール、啓発看板等で対策するとともに、定期的に不法投棄物を撤去します。	●
②-2	生活環境保全事業	環境に関する情報発信、あき地所有者への雑草除去通知、環境調査、公害苦情対応等を実施します。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗 目標値 中間値(9月末) 実績値(年度末) 目標達成度(R6年度比)	担当所管
22	23 4 15 500.0%	市民環境部 廃棄物対策課
24	38 19 34 157.1%	市民環境部 環境対策課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	今後の方向性 方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題					
①-1	ごみ減量及び資源化推進事業	【実績】 ・PTA等の各種団体への奨励金、生ごみ処理機への補助金は、実施済。 ・「ええもんクルっとコーナー」については、本庁舎1階にて開設。 ・「ええもんクルっと市」については、ふれあいフェスタで開催済。 【課題】 ・「ええもんクルっと市・コーナー」のための食器類回収の市民への周知方法の検討が必要。	A	72 64 77	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・資源回収団体への補助制度は、継続し、活動団体の減少を食い止める広報に努める。 ・生ごみ処理機補助制度は、予算を超える申込みがあるので、今後とも申請数の推移に留意する。 ・リユースコーナー(食器類)は、提供の機会を確保するとともに、コーナーへの食器類のこまめな補充に努める。 【コストの方向性】 ・生ごみ処理機補助制度については、予算を超えるニーズもあるが、現状を維持しながら、今後の推移に注視する。	市民環境部 廃棄物対策課
②-1	不法投棄防止啓発事業	【実績】 ・不法投棄監視拠点箇所のバトロールを月2回実施済。 ・市内公共施設への不法投棄については、担当所管課と連携し対応した。民間地への不法投棄については、対応方法を指導した。 【課題】 ・啓発看板の設置場所について、公共施設がない場所での設置が困難。	A	67 75 85	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・広報活動及び監視/バトロールを継続して実施する。 ・通報があれば必要に応じて不法投棄物を撤去する。 ・不法投棄の温床になりやすい現場に対し監視カメラや啓発看板を設置し、発生を抑制する。 【コストの方向性】 ・不法投棄物の撤去、監視カメラの保守点検及び啓発看板の制作等、現状を維持しながら今後の発生について注視する。	市民環境部 廃棄物対策課
②-2	生活環境保全事業	【実績】 ・環境に関する情報については広報誌による周知に加え、市HPの改善により問題に懸れてもらう機会を増加した。 【課題】 ・あき地の管理や野焼きについて、土地の所有者から周辺住民への配慮不足が原因でトラブルになっている場合もあり、広報の方向性には検討が必要である。	A	90 90 90	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・環境に関する広報等の情報発信は、環境基本計画上の主な取組にも挙げており、季節に合わせて広報テーマ(夏は臭いや雑草・秋からは野焼き等)を決めて掲載をしている。例年、市民からの問合せも多く、ニーズがあると考えられるため、現状の取り組みを継続していく。 ・公害苦情やあき地の雑草に関する苦情があれば、関係者への声掛けや広報啓発等により対応している。例年、市民からの問合せも多く、ニーズがあると考えられるため、現状の取り組みを継続していく。 【コストの方向性】 ・あき地雑草について、対象地の抽出や、委託分の雑草除去を行うためには、現状維持が望ましい。 ・公害調査について、一定の検査項目を継続して調査するため、現状維持が望ましい。	市民環境部 環境対策課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	市民がごみの分別・ごみ減量等及び不法投棄について理解し行動できるよう啓発し、広報紙やホームページで情報発信していく。 ・環境問題について市民の方が自発的に行動し、引き続き広報やHPにて情報を発信していく。
---------	---

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 3 事業	拡充 0 事業	拡大 0 事業
B 0 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 88-89 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	24 自然環境・景観の保全

★ 目指す姿

街路や公園、河川などが綺麗に保たれていて、一人ひとりがその状態を維持しようと努めている。



■ 施策の主な取り組み

① 美しい自然環境・景観の保全

まちを形成する道路や公園、河川および森林の適切な管理により、美しい自然環境・住環境の保全を図ります。また、美しいまち並み景観の形成および屋外広告物の適正な管理を図るとともに、地域を主体とした景観形成の仕組みづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
①-1	街路美化推進事業	まちを形成する道路等について、定期的な草刈り、剪定などの美化作業を行います。また、地域の美化活動を促進します。	●
①-2	都市公園維持管理補修事業	誰もが安全、快適に利用できる公園環境のための適切な維持管理を行います。	●
①-3	河川維持管理事業	河川・水路の定期的な点検・美化清掃・維持補修を行うとともに、土砂上げ等など適切な維持管理により、河川の氾濫を抑制します。	●
①-4	屋外広告物規制事業	良好な景観・風致を維持するために、広告物掲出時の指導・啓発を行うとともに、違反広告物の撤却作業を行い、その削減に努めます。	—

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
森林・街路・公園維持管理面積	ha	維持管理体制の整っている森林面積、街路植樹面積、公園面積の総数(累計)	44	44	77	130	45	45	45	45	100.0%	都市創造部 公園道路管理課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定			
今年度の事業実施計画	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入							
		成果の方向性	コストの方向性					
①-1	街路美化推進事業	【実績】 ・市内の街路において、定期的な草刈・剪定を実施 【課題】 ・定期的な剪定等を実施できていない箇所の実施	A	77	拡充	定期的な草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追いついていない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
・定期的な街路上における街路樹の剪定を実施する				90				
				77	拡大			
①-2	都市公園維持管理補修事業	【実績】 ・市内の都市公園において、定期的な草刈・剪定を実施 ・公園遊具の日常点検を実施して、適宜補修を実施 【課題】 ・定期的な剪定等を実施できていない箇所の実施 ・専門家による遊具の定期点検及び遊具の修繕・更新工事の実施	A	77	拡充	定期的な草刈り、剪定を実施しているが、草木の生育に対して、剪定が追いついていない箇所に加え、新規の要剪定箇所も発生しており、剪定回数や箇所を増やして実施する。	都市創造部 公園道路管理課	
・定期的な都市公園内における樹木の剪定を実施する ・定期的な公園内における遊具の点検を実施し、危険度の高い箇所から改修を実施する				90				
				77	拡大			
①-3	河川維持管理事業	【実績】 ・市管理河川・水路の草刈・土砂撤去 ・調整池土砂撤去工事 2箇所 【課題】 ・継続的な河川土砂撤去の実施 ・土砂撤去が未実施な調整池の早急な実施	A	65	現状維持	定期的な土砂撤去やしゅんせつを実施をしている。	都市創造部 公園道路管理課	
・河川や水路の土砂撤去や草刈り等を実施する。				90				
				77	拡大			
①-4	屋外広告物規制事業	【実績】 ・屋外広告物の新規、継続、撤去等許可事務を135件対応した。 ・中和幹線沿道における屋外広告物適正化について、県と協働して市から広告物管理者への周知を実施し、成母不適格広告物が全て解消された。 ・違反広告物撤却開始活動が9月・2月に実施し、市内の景観の維持を図った。 ・市ホームページでの屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発を継続する。 【課題】 ・屋外広告物の安全点検について、令和6年度より点検項目が拡充されているため、継続した周知・啓発を必要としている。	A	67	現状維持	【成果の方向性】 引き続き、屋外広告物の許可事務を適正に行なう。 ・これまで行ってきた違反広告物の撤却活動により、違反広告は減少しているが、良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、違反広告物のさらなる減少に向け、今後も協力が体制は継続していく。 【コストの方向性】 ・事業に必要なコストは前年度と同程度。	都市創造部 都市政策交通部	
・屋外広告物の新規、継続、撤去等許可事務 ・中和幹線の良好な景観形成に努める ・違反広告物の撤却除却活動 ・屋外広告物の定期的な安全点検実施に係る周知・啓発				75				
				72	現状維持			

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
・街路や公園において定期的な草刈り・剪定の未実施箇所における実施	
・今年度より引続き公園遊具の専門家による詳細な定期点検を実施	
・公園遊具の修繕や更新工事の実施	
・調整池や市管理河川の土砂撤去未実施箇所における早急な実施	
・市内の良好な景観形成及び公衆に対する危害の防止の観点から、屋外広告物の許可事務を適正に進めるとともに、違反広告物のさらなる減少に向け、今後も関係機関との協力体制を継続する。	

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 4 事業	拡充 2 事業	拡大 3 事業
B 0 事業	現状維持 2 事業	現状維持 1 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 90-91 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成

★ 目指す姿

良好な市街地が形成され、誰もが安心して自由に快適に移動できている。



■ 施策の主な取り組み

① 良好な市街地の形成

社会情勢の変化にともなう新たな課題や住民のニーズに対応するため、まちづくりに関する計画の策定や見直しを進めるとともに、管理不全な空き家等の発生抑制など、適正な土地利用を推進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
空き家率	%	空き家数/住宅総数	8.2	8.2 8.2 8.2

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
①-1	空家等対策関係事業	空き家管理の重要性を周知するため、所有者等への情報提供を行うとともに、問題のある空き家等の把握に努め、所有者等による適正な管理や活用を促進します。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗 目標値 中間値(9月末) 実績値(年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当部署
—	8.2 6.9 6.9	—	都市創造部 都市政策交通部

② 持続可能な地域公共交通の確立

地域公共交通を維持していくために、モビリティマネジメントや交通弱者の外出支援など実施し、持続可能な地域公共交通の利用促進に取り組むことで、誰もが移動しやすい快適な暮らしの提供に努めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
コミュニティバス利用者数	人	コミュニティバスの利用者数	58,660	65,000 65,000 65,000
デマンド交通利用者数	人	デマンド交通の利用者数	43,478	47,000 47,000 47,000
JR西日本の利用者数	千人	JR西日本市内3駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	1,576	1,576 1,576 1,576
近畿日本鉄道の利用者数	千人	近畿日本鉄道市内5駅の利用者数(奈良県統計年鑑発表年度の値であり、利用実績値としては各2年前のデータ)	8,913	8,913 8,913 8,913
奈良交通の利用者数	千人	奈良交通市内バス4路線の利用者数	1,679	1,679 1,679 1,679
タクシー(西大和交通圏)の利用者数	千人	西大和交通圏全体のタクシーの利用者数	865	865 865 865

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合評価
②-1	地域公共交通事業	民間の公共交通機関との連携を図りながら、地域公共交通(コミュニティバス、デマンド交通)を運営します。また、モビリティマネジメントなど実施し、地域公共交通の利用促進に取り組みます。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗 目標値 中間値(9月末) 実績値(年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当部署
44,266	65,000 23,295 46,278	71.2%	都市創造部 都市政策交通部
46,726	47,000 23,902 45,924	97.7%	都市創造部 都市政策交通部
1,318	1,576 — 1,359	86.2%	都市創造部 都市政策交通部
7,390	8,913 — 7,935	89.0%	都市創造部 都市政策交通部
—	1,679 — 1,787	106.4%	都市創造部 都市政策交通部
—	865 — 604	69.8%	都市創造部 都市政策交通部

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性	担当部署
今年度の事業実施計画		実績と課題	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当部署
①-1	空家等対策関係事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理不全の空き家所有者等に対し、適正管理を促す文書を52件送付した。 空き家売却に係る補助事業1件 空き家利活用に係る補助事業1件 納税通知書の送付機会を活用した空き家の適正管理に関する啓発を行った。 令和6年9月21日(土)に「空き家セミナー＆個別相談会」開催(3名参加) 「空き家等対策計画」の改訂及びマンション促進適正化推進計画の策定を行うため、空き家等対策推進協議会を10月及び2月に開催した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家に係る土地及び建物所有者等の適正管理に関する意識醸成のため、周知・啓発が必要である。 「空き家等対策計画」の対策事業の実行について再検討し、次年度の改訂に反映する。 	<p>3視点 所要判定 成果の方向性</p> <p>87 現状維持</p> <p>85 縮小</p> <p>82 縮小</p> <p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度改訂の「空き家等対策計画」に基づき、新たな施策実施を検討する。 空き家等の売却、利活用に対する補助制度を引き続き実施し、安心・安全の確保につなげるとともに、地域活性化への活用を図る。 建物所有者等に対し、空き家に対する適正な管理について周知を図り、管理不全の空き家が解消されるよう働きかける。 【コストの方向性】 事業実施に必要なコストは前年度と同程度(国庫補助金を活用)。また今年度計画の改訂に必要な事業費の分だけ削減。 	都市創造部 都市政策交通部
②-1	地域公共交通事業	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の広報紙にて、コミュニティバス車両のリニューアルについて周知を行った。 使用しなくなったバス車両2台につき、インターネット公有財産売却により処分した。 市の広報紙・HPにてコミュニティバスの停留所・ルート(便)の見直し廃止基準の設定につき公表し、利用啓発を行った。当該データ採取開始(R6.6~R7.5)においては、利用者実績を毎月公開、基準値に満たない停留所については、停留所に貼紙を行い、積極的な利用を呼びかけた。 出前講座として地域へ外出で、デマンド交通におけるインターネット予約の利用方法を周知・説明した(1回)。 月1回以上、運行事業者との協議を実施した。 奈良市地域公共交通活性化協議会を、対面にて1回、書面にて3回開催した(予定)。 令和7年度のコミュニティバス及びデマンド交通の運行について、奈良市地域公共交通活性化協議会での合意を得て、入札により運行事業者を選定した。 モビリティマネジメントの一環として市の広報紙に公共交通で出かけよう(をテーマとした特集を行い、市内を運行する公共交通の情報を掲載した(1回)。 本市での行事「冬祭り」にてコミュニティバスを臨時運行し、来場者の交通手段の確保及びコミュニティバスの認知度向上を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス利用者の数は昨年度比で増減しており、目標値には及ばないため、引き続き、広報等での利用啓発が必要である。 デマンド交通は目標値を上回る利用がある一方で、希望した日時に予約が取れないとの意見も寄せられた。 	<p>3視点 所要判定 成果の方向性</p> <p>85 拡充</p> <p>80 現状維持</p> <p>82 現状維持</p> <p>【成果の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの利用促進を図るため、拡充とした。 【コストの方向性】 人件費等価格上昇分の影響はあるが、業務規模は本年度と同等であるため現状維持とした。 「奈良市コミュニティバス」について、広報掲載済み(9月)、イベント利用予定(ふれあいフェスタ、冬祭り)、利用促進を図る。 更新して使用しなくなったバス車両を処分し、維持管理経費の削減、収入確保を図った。 停留所およびルート(便)見直し廃止基準について、広く広報し、乗降者数データの公表を月単位で更新実施している。 「奈良市デマンド交通」について、出前講座を案内し、インターネット予約や有効な利用方法の周知を図った。 安全な運行管理を実施するため、定期的に運行事業者との協議を実施している。(月1回以上) 奈良市地域公共交通活性化協議会のため、奈良市地域公共交通活性化協議会を開催している(5月・7月開催済み、2月および3月開催予定)。 令和7年度以降のコミュニティバスおよびデマンド交通の運行について、奈良市地域公共交通活性化協議会での合意形成を得た。下半期に入札により運行事業者を選定する。 モビリティマネジメントや出前講座など、市民の声にふれる機会を通じ、公共交通の認知度及び認知度を高め、利用促進を図っている。 	都市創造部 都市政策交通部

■ 施策の方向性(改善策)

	<p>・管理不全の空き家所有者に対して、費額の周知及び管理サービスや市場流通の促進を図るための情報提供を継続すると共に、安心・安全の確保につなげるとともに、地域活性化への活用を図ることを目的に、空き家の売却及び利活用に関する経費の一部補助事業を実施する。</p> <p>・空き家改正法に伴い、各市空き家等対策計画の改訂を促す。</p> <p>・コミュニティバス及びデマンド交通の今後の運行見直しについて、奈良市地域公共交通活性化協議会での協議を通じ、検討する必要がある。</p> <p>・民間公共交通の利用者について、コロナ禍からある程度戻っているが、運転士不足等、公共交通事業者の状況は依然として厳しく、地域公共交通を維持、確保するために、事業者と連携し、モビリティマネジメント等を通じて利用促進を図る必要がある。</p>
次年度の方向性	

担当課評価	評価
A	0 事業
B	2 事業
C	0 事業

成果の方向性	コストの方向性
拡充	1 事業 拡大 0 事業
現状維持	1 事業 現状維持 1 事業
縮小	0 事業 縮小 1 事業
休止	0 事業 休止 0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 92-94 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実

★ 目指す姿

バリアフリーの充実した施設が整い、人と自然が共存する生活環境が構築されている。



■ 施策の主な取り組み

① 公園整備の推進

身近な場所において、余暇を楽しむ機会を増やすため、安全・快適に利用できる公園の整備を図ります。また、多くの人が集い、活動できるスポーツ公園、総合公園の整備を進め、地域の賑わいの場とします。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
住民1人当たりの都市公園の敷地面積	m	都市公園面積/人口	5.1	5.5 6.8 7.9

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗 中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	担当所管
5.2	5.5	5.2	5.2	25.0%	都市創造部 土木建設課

② バリアフリー化の推進

バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
重点整備地区内のバリアフリー特定事業完了率	%	特定事業(バリアフリー化工事等)が完了した事業数/特定事業の全事業数	32.9	54.4 73.8 100

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗 中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	担当所管
55.0	55.0	—	59.0	118.1%	都市創造部 都市政策交通課

③ 地域拠点としての駅周辺整備

駅利用者の利便性の向上および安全性の確保を促進します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
駅周辺整備率(路切・暫定広場整備を含む)	%	整備した箇所数(累計)/整備対象箇所数	68	72 72 76

前年度実績値 (R5)	目標値	今年度の進捗 中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	担当所管
72	72	72	72	100.0%	都市創造部 土木建設課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要 性 有効 性 効率 性 コストの 方向性	所管判定 成果の 方向性 コストの 方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①-1	香芝市スポーツ公園整備事業	【実績】 ・令和5～7年度にかけてスポーツ公園ブル施設建築工事を実施 【課題】 ・令和5～7年度にかけてブル施設建設工事に着手しているが、事業の主要な財源となる国交付金の確保が課題となる	A	72 55 87	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・一時的な事業用地が確保できた箇所から、段階的整備による事業効果の早期発現に向け工事を実施する。 ・事業用地の取得がボトルネックとなっているため、引き続き交渉を行う。 【コストの方向性】 ・市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部 土木建設課
①-2	街区公園・親水緑地整備事業	【実績】 ・今年度は事業実施箇所なし 【課題】 ・今後の事業実施に向けて関係機関(自治会等)と協議を進めていく	A	75 95 87	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・市内全域の公園・緑地の配置や地元要望等を踏まえた中で、新たな街区公園や親水緑地の整備箇所の検討を行う。 【コストの方向性】 ・2年間にわたって、基本計画の策定を進める。あわせて、計画区域の見直しを含む都市計画変更手続きに向けて関係機関との協議を進めていく。 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等は引き続き実施する。 ・総合公園の整備に向け、基本計画策定等にかかるとコストが拡大。	都市創造部 土木建設課
①-3	香芝総合公園整備事業	【実績】 ・総合公園整備基本構想策定 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等の実施 【課題】 ・総合公園整備基本構想の策定が完了したため、具体的な整備の検討が必要。 ・総合公園内園路等の維持管理を継続する。	B	82 90 82	拡充 拡充 拡充	【成果の方向性】 ・2年間にわたって、基本計画の策定を進める。あわせて、計画区域の見直しを含む都市計画変更手続きに向けて関係機関との協議を進めていく。 ・総合公園内園路の除草、樹木剪定、側溝清掃等は引き続き実施する。 ・総合公園の整備に向け、基本計画策定等にかかるとコストが拡大。	都市創造部 都市計画課
②-1	バリアフリー推進事業	【実績】 ・JR香芝駅のバリアフリー化工事は令和6年9月20日に完了した。 ・駅前の公衆トイレ設置工事(バリアフリー対応トイレ)は3月末に完了した。 ・令和6年度は2校でバリアフリー教室を実施した。(開校小学校10月31日、真美ヶ丘東小学校11月5日) ・心のバリアフリーに関する広報・啓発として、市ホームページ掲載やイベントでのパネル展示等を実施した。 ・香芝市バリアフリー特定事業計画について、各事業主体の進捗状況を確認した。 【課題】 ・バリアフリー基本構想(特定事業計画)の進捗管理を行い、課題を整理し対応を検討する。	A	90 95 85	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・JR香芝駅のバリアフリー化工事が9月に完了。引き続き、公衆トイレ設置(バリアフリー対応)に着手し、今年度中または次年度当初の供用開始を目指すとともに、広報紙等を通じ市民に周知する。 ・小学校(児童)を対象にバリアフリー教室を開催し、障害に対する理解促進を行う。 ※令和6年度は2校で実施予定(開校小学校10月31日、真美ヶ丘東小学校11月5日) ・バリアフリー基本構想に位置付けている事業の進捗管理を行う。 【コストの方向性】 ・JR香芝駅のバリアフリー化工事は完了予定であるが、バリアフリー推進事業は引き続き実施していくため、コストは現状維持とする。	都市創造部 都市政策交通課
②-2	歩道等バリアフリー化事業	【実績】 ・歩道34.3mのバリアフリー化の実施 【課題】 ・歩道バリアフリー化未施工箇所の計画的な実施	A	80 95 95	現状維持 現状維持 現状維持	・今後も引き続き、香芝市バリアフリー基本構想における重点整備地区に位置付けられた歩道のバリアフリー化の促進を図る。	都市創造部 公園道路管理課
②-3	既存道路バリアフリー化事業	【実績】 ・国交付金の内示査定により事業未実施 【課題】 ・引き続き事業費の確保、用地取得に努める	A	95 55 95	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・今年度は補助金の配分状況により実施できなかったが、次年度は用地取得を行う。 【コストの方向性】 ・市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部 土木建設課
③-1	駅周辺整備事業	【実績】 ・近鉄上二駅周辺整備について調査・検討を行う。 【課題】 ・今後の協定締結および密接な連携が必要	A	95 87 87	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・未整備地区について、地元自治会や鉄道事業者との協議を踏まえ、整備方針等を検討していく。 【コストの方向性】 ・調査検討及び協議の結果、整備方針が固まった場合は、国庫補助金等を活用しながら、交通空間としての機能性を最大限向上させるよう事業を進める。	都市創造部 土木建設課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	内容
・段階的整備による事業効果の早期発現に向け工事を進める。 ・引き続き国庫補助金を最大限に活用できるような事業を進める。 ・令和6年度に策定した基本構想に基づき、導入施設の規模・位置の設定、空間構成や動線の設定、管理・運営方法の設定等、公園整備に係る具体案を示す基本計画を策定する。 ・引き続き、近鉄五ヶ丘至駅周辺の歩道のバリアフリー化(段差解消・点字ブロックの設置)を実施します。 ・バリアフリーに関する広報・啓発活動を継続して実施する。	

担当課評価	
A	6 事業
B	1 事業
C	0 事業

成果の方向性	コストの方向性
拡充	1 事業
現状維持	6 事業
縮小	0 事業
休止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 95-96 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	27 道路整備の充実

★ 目指す姿

交通混雑が解消され、誰もが安全に利用できる道路が確保されている。



■ 施策の主な取り組み

① 幹線道路の整備

幹線道路のネットワーク強化を図るため、計画的に整備を進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
都市計画道路供用済延長	km	これまでに供用を開始した都市計画道路延長(累計)	27.3	27.7 28.6 30.1

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	主要幹線道路整備事業	都市計画道路の整備を段階的に進めます。	●

② 生活道路等の安全性の確保

安全性や緊急性による優先度を踏まえ、生活道路等の適切な管理・整備を進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
市道の新設・改良箇所数	箇所	市道において、新設・改良工事を実施した箇所数(令和2年度からの累計)	0	4 8 12

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	道路維持管理補修事業	道路の路面状況等を把握するため、定期的なパトロールを行うとともに、市民から寄せられた情報などをとらえて補修を行います。	●
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	「香芝市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路橋の安全性・耐用年数の向上を図るため、修繕工事を実施します。	●
②-3	道路新設改良事業	道路の新設・拡張整備を推進し、特に拡幅整備においては、部分的な待避所の設置や隅切りなど、状況に応じた整備を行います。	●

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当部署
27.3	27.7	27.3	27.3	0.0%	都市創造部 土木建設課

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当部署
15	18	15	19	105.6%	都市創造部 土木建設課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 結果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①-1	主要幹線道路整備事業	【実績】 ・令和6～7年度にかけて畑分川線(1工区)の上部工築造工事(橋梁)を実施 【課題】 ・令和6～7年度にかけて畑分川線(1工区)の上部工築造工事(橋梁)に着手しているが、事業の主要な財源となる国交付金の確保が課題となる ・尼寺間屋線及び畑分川線は、関連事業(スポーツ公園)の進捗に合わせて整備する必要がある	A	100 69 87	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・用地取得が完了した箇所から順次、工事に着手する。また、未取得用地については、引き続き交渉を行う。 ・畑分川線(1工区)の竣工を見据え、次に着手する都市計画道路の準備を進める。 【コストの方向性】 ・市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部 土木建設課
②-1	道路維持管理補修事業	【実績】 ・香芝市舗装長寿命化計画における分類B・C路線L=1.1kmの修繕工事を実施 【課題】 ・分類B・C路線において、地下埋設占有業者の新設改築工事計画を精密に協議し、修繕工事における短期間、短区間の掘り直し発生防止	A	95 85 95	現状維持 現状維持	・香芝市舗装長寿命化計画における、分類B,Cである都市計画道路については、劣化度が高い路線の改善を実施して長寿命化を引き続き図る。 また、分類Dである生活道路においては、劣化度に加え、地元要望も加味して、長寿命化を図る。	都市創造部 公園道路管理課
②-2	橋梁点検及び長寿命化修繕事業	【実績】 ・1橋の修繕工事、3橋の橋梁修繕設計を実施 ・4橋の橋梁定期点検を実施 【課題】 ・集約化が可能な橋梁を抽出するとともに、定期点検箇所数を削減するため、集約化に向けた検討の実施	A	90 95 95	現状維持 現状維持	今後も引き続き、橋梁、大型カルバート及び歩道橋において5年に1度の定期点検を実施する。 重要対象橋梁の修繕が続えてくるため、予防保全として、橋の維持管理を進めていく。	都市創造部 公園道路管理課
②-3	道路新設改良事業	【実績】 ・下田西(市道6-45号線)、狐井(市道10-117号線)及び下寺(市道1-22号線)について拡幅・整備工事実施 ・狐井(市道10-49号線)拡幅事業の支障物件の確保調査を実施 【課題】 ・引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める ・補償調査を実施した物件については用地取得に向け交渉予定	A	100 74 87	現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・複数の事業箇所における測量や設計を一体的に実施するなど、進捗管理を強化・徹底することにより、事業のスピードアップを図る。 【コストの方向性】 ・市の財政負担を最小にするような事業手法等を検討し、国庫補助金も活用しながら、総合的なコストを考慮した中で事業を進める。	都市創造部 土木建設課
・市内の鉄あいの道路の整備(拡幅工事)を推進する。							

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
・道路維持管理については、継続して香芝市舗装長寿命化計画における分類B,C路線について、維持工事を実施する。 ・橋梁点検に関しては、5年サイクルで橋梁212橋・大型カルバート1箇所・横断歩道橋2橋の点検を行っていることととも集約を検討し、管理橋の縮減を図る。 ・引き続き事業のスピードアップ、コストダウンに努める。 ・関連事業の進捗状況を見ながら調整して事業を進める。	

担当課評価	
A 4 事業	
B 0 事業	
C 0 事業	

成果の方向性	コストの方向性
拡充 0 事業	拡大 0 事業
現状維持 4 事業	現状維持 4 事業
縮小 0 事業	縮小 0 事業
休止 0 事業	休止 0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 97-98 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	28 上下道の基盤強化

目指す姿

「快適な水道サービスと安定した水道事業を目指して」という基本理念の実現に向けて、安心・安全・強靱な水道事業の運営が行われている。



施策の主な取り組み

① 安心・安全・安定した水道の供給

管路の耐震化および施設の適切な維持管理により、安心・安全な水道水の安定供給に努めます。また、応急給水用品の整備や飲料水貯水槽施設の設置などにより、災害時の持続可能な供給体制の充実に努めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
基幹管路の耐震化率	%	基幹管路(口径300mm以上の配水管)の耐震管の累計総延長/基幹管路総延長	11.9	28.6 45.3 62.1

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	水道施設更新事業	漏水の可能性のある老朽管の更新及び重要要管である口径300mm以上の基幹管路の耐震化を重点的に行います。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗 目標値 中間値(9月末) 実績値(年度末) 目標達成度(R6年度比)	担当所管
14.6	28.6 14.6 15.9 23.7%	上下水道部 工務課

② 健全な水道事業の運営

適正な水道料金を維持し、適切なサービスを継続して提供できるよう、健全な水道事業運営に努め、今後県域水道一体化の検討も含め、経営基盤の強化を図ります。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
経常収支比率	%	経常収益/経常費用	113.8	100以上 100以上 100以上

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水道事業の経営健全化事業	委託業務の適正化や事務の効率化に取り組み、効率的な事業運営に努めます。また、ホームページ等による情報提供やお客さまのニーズに合ったサービスの提供に取り組みます。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗 目標値 中間値(9月末) 実績値(年度末) 目標達成度(R6年度比)	担当所管
105.0	100以上 ー 107.6 ー	上下水道部 業務課

■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	今後の方向性	担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	3視点 必要性 有効性 効率性 所管判定 成果の方向性 コストの方向性 方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	水道施設更新事業	【実績】 ・配水管の更新事業(14事業、うち基幹管路1事業) ・鉛製給水管を31戸更新。 【課題】 ・令和6年度基幹管路耐震化率の目標値を28.6%としていたが、配水管漏水に伴う布設工や国道168号の道路拡幅による隣接工事を優先させたこともあり、目標値を下回っている。今後利用年数の到来する配水管の増加も見込まれるため、より効率的に更新工事に取り組み必要がある。	90 67 75 現状維持 現状維持 現状維持	上下水道部 工務課
②-1	水道事業の経営健全化事業	【実績】 ・ワーキンググループや作業部会等に積極的に参加し、県域水道一体化に向けて議論を進めることができた。 ・検討及び開閉等業務委託(長期継続契約)について、県域水道一体化を見据え、業務の標準化を図りつつ、仕様の見直しを行い、新たに契約を締結した。 【課題】 ・引き続き費用対効果や業務の必要性の検討を継続し、県域水道一体化後も住民サービスを低下させないよう業務運営が必要がある。	90 80 80 現状維持 現状維持 現状維持	上下水道部 業務課

施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・関係機関と工事範囲や工程の調整を行い、工事を集約する等で経費を削減し、効率的に工事を施工する。 ・奈良県広域水道企業団に事業は引き継がれたが、引き続き業務の適正化や事務の効率化に取り組む。
---------	--

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 1 事業	拡充 0 事業	拡大 0 事業
B 1 事業	現状維持 2 事業	現状維持 2 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 99-100 ページ)

政策名	6 自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)
施策名	29 下水道の整備

★ 目指す姿

下水道が安定的に機能し、誰もが衛生的に暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 下水道の整備・更新

管渠整備を促進し、普及率の向上を図るとともに、管路施設老朽化の防止に努めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
下水道の人口普及率	%	下水道処理人口(下水道を利用できる人数)/住基人口	73.2	80.4 87.7 95

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	公共下水道管渠整備事業	幹線管渠の整備を進めるとともに面的整備を進め、供用開始区域の拡大と普及率の向上を図ります。また、管路施設の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、施設の更新を行います。	●

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当部署
77.9	80.4	78.3	78.4	72.2%	上下水道部 下水道課

② 水洗化の促進

公共下水道への未接続世帯に対し、下水道への接続を促すことにより、水洗化の普及促進および水洗化率の向上に努めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
下水道の水洗化率	%	下水道接続人口(下水道を利用している人数)/下水道処理人口(下水道を利用できる人数)	90.6	95 96 97

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	水洗化促進事業	供用開始区域において、下水道の未接続世帯に対し個別訪問し、接続の促進を行います。	●

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当部署
91.3	95	91.0	91.0	91.1%	上下水道部 下水道課

③ 持続的な下水道機能の確保

下水道施設の計画的な点検や排水に対する水質指導により、持続的な下水道機能の確保を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
法定水質基準遵守率	%	法律に基づく水質試験の基準を遵守した流域接続点の箇所数/市内の流域接続点の箇所数	100	100 100 100

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	下水道維持管理事業	マンホールポンプ施設の計画的な保守点検や、下水排水基準に適合しない汚水を排出する事業所への指導を行います。	●

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当部署
100	100	50	100	100.0%	上下水道部 下水道課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	今後の方向性 方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当部署
今年度の事業実施計画		実績と課題					
①-1	公共下水道管渠整備事業	【実績】 ・逢坂、上中、五位堂、狐井、北本市、下田西地内において、整備完了した。 【課題】 ・穴畑、良福寺地内において、関係機関と協議に時間を要し整備が完了せず次年度へ繰越をした。	B	95 82 85	現状維持 現状維持 現状維持	・管渠整備事業においては、整備要望の機運が高く、人口密集地域を中心に整備を実施することで、普及率の向上を目指す。	上下水道部 下水道課
②-1	水洗化促進事業	【実績】 ・普及促進の件数は前年度より上回ったが、新規供用開始を行った区域の処理人口の減少もあり、下水道への接続件数においても同様に下回った。 【課題】 ・普及拡大を重点的に行っている中、水洗化率については横ばい状態である。	B	95 77 90	現状維持 現状維持 現状維持	・普及拡大することに伴い水洗化率のさらなる向上が、水質の改善、使用料の増加に寄与することから、普及促進員による活動を継続して実施する。	上下水道部 下水道課
③-1	下水道維持管理事業	【実績】 ・法定水質基準が遵守できている。 【課題】 ・法定水質基準を満たしているが、一部水質の悪い(特定排水に係る水質使用料の区分に該当する数値)箇所がある。	A	74 67 75	現状維持 現状維持 現状維持	・接続点での水質検査を実施し、法定水質基準を遵守した水質維持について努めている。	上下水道部 下水道課
		・流域下水道接続点等21箇所において、水質検査を実施する。					

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	
・要望地域や人口密集地域を中心に、各自治会と協議を交え機運の高さを確認して、整備促進を図っていく。	
・未接続世帯訪問時に会えなかった世帯について、訪問回数を増やし啓発の時期や時間などの訪問計画を見直しながら啓発活動を行う。	
・水質の悪い箇所については、定期的に啓発を行っていく。	

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 1 事業	拡充 0 事業	拡大 0 事業
B 2 事業	現状維持 3 事業	現状維持 3 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業